



会 社 名 ログリー株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉永 浩和
(コード番号：6579 東証グロース)
問合せ先 取締役ＣＦＯ 岸本 雅久
(TEL. 03-6277-5617)
(URL. <https://corp.logly.co.jp/>)

記

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想値 (A)	百万円 1,940	百万円 △66	百万円 △65	百万円 △86	円 銭 △22.63
今回発表予想値 (B)	1,386	△66	△65	△86	△22.63
増減額 (B－A)	△553	0	0	0	
増減率 (%)	△28.5%	－	－	－	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	1,605	△162	△164	△189	△49.80

2. 修正の理由

当社の主力事業である「LOGLY Ads Context(旧 LOGLY lift)」はインターネット広告市場の中の「ネイティブ広告業界」に属しており、広告主（代理店を含む）の広告効果最大化や媒体社（以下メディア）の満足度向上を実現することで、ここ数年続いているインターネット広告市場において厳しい価格競争や広告表記健全化等のコンプライアンス対策に対応してまいりました。また、2025 年 4 月には当社の新規サービスとブランド統合し、LOGLY Marketing Nexus として顧客の多様化するニーズに対応するサービスとして販売を開始いたしました。しかしながら、ネイティブ広告業界の低迷はより拡大し続け、結果として当社においても、第 1 四半期から第 2 四半期にかけて急激に広告取扱高が減少した結果、第 2 四半期累計での当期業績予想に対する売上高の進捗率は 37.0%と低迷し、ビハインド額（残り 63.0%）を下期 6 か月間で取り戻すためには約 158.7%の進捗率が求められる状況となりました。下記の方針のもとですでに対策を講じておりますが、売上高の回復には一定の期間を要し、予算の 158.7%水準を達成することが困難であるため、上期の進捗実績に基づき達成可能な水準を再検討し、通期業績予想の修正を行うことを決定しました。

なお通期業績予想を修正するにあたり、売上高に関しては、新しいブランドである LOGLY Marketing Nexus では顧客への浸透度がまだ浅く、短期的に受注を回復させることは困難であるため、LOGLY Marketing Nexus の中核商品であるネイティブ広告プラットフォーム LOGLY Ads Context の販売を再度強化する方針とし、社内のマネジメント体制を再編しました。また、根本的な課題であるネイティブ広告業界の低迷という大きな外部環境の課題をいち早く解決するために、新規事業への活動を活発化させております。

以上の結果、当初の通期業績予想に対して売上高は 553 百万円減の 1,386 百万円となります。また、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、マージンコントロールによる売上総利益の確保や固定費の継続削減により当初の通期業績予想のとおり進捗しているため、通期業績予想から変更はなく、営業利益は△66 百万円、経常利益は△65 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は△88 百万円となる見込みです。

以上